

その光は、まことの光で、 世に来てすべての人を照らす

～ 聖書からのメッセージ ～

☆

第8回 ひがしむき

光のページェント & チャペルコンサート 2014

☆



聖書の中から「光」を伝える聖書の言葉を、毎日ひとつずつ心にとめて黙想し、クリスマスを喜び迎えましょう。わたしたちの心にあたたかな光がとまりますように。

日本聖公会 奈良^{キリスト}基督教会

司祭 ヨハネ 井田 泉

12月13日（土）

創世記1:3-4

神は言われた。「光あれ。」

こうして、光があった。神は光を見て、良しとされた。

世界は闇でした。神が「光あれ」と言われました。すると光が輝き、世界を照らしました。

その世界とは、わたしたち自身のことかもしれません。希望と力を失ったわたしたちに対して、神は「光あれ」と呼びかけてください。そのとき、わたしたちのうちに光が輝きます。

（祈り）

神さま、闇におおわれてしまいそうなわたしたちにも「光あれ」とおっしゃってください。アーメン

12月14日（降臨節第3主日）

詩編27:1

^{しゅ}主はわたしの光、わたしの救い。わたしは誰を恐れよう。主はわたしの命の砦。わたしは誰の前におののくことがあろう。

「主」とはもともと「支配者」「統治者」の意味ですが、聖書で「わたしたち守り、養い、導く神」のことです。

神がみずからわたしたちの光となって、わたしたちを守り、導かれます。その光に守られて、わたしたちは恐れから解放され、平安を与えられます。

（祈り）

主よ、わたしたちの光となってください。アーメン

12月15日（月）

詩編56:14

あなたは死からわたしの魂を救い、突き落とされようとしたわたしの足を救い、命の光の中に、神の御前^{みまえ}を歩かせてくださいます。

「あなたは……」。「あなた」と神に呼びかけています。呼びかけが起こるとき、わたしたちは孤独ではありません。呼びかけを受けるかた＝神は、やがて手を伸ばしてわたしたちを救い、保ってくださいます。

(祈り)

神よ、手を伸ばしてわたしたちを助け、わたしたちの歩みを確かなものにしてください。アーメン

12月16日（火）

詩編119:105

あなたの御言葉^{みことば}は、わたしの道の光。わたしの歩みを照らす灯。

神は沈黙不動の神ではなく、わたしたちに語りかけてくださるかたです。神が語りかけてくださるので、わたしたちは慰めと励ましを得、また前に向かって歩みだすことができます。

(祈り)

神よ、あなたの言葉によってわたしたちの歩みを照らしてください。アーメン

12月17日（水）

イザヤ書9:1

彼らの神なる主は、その日、彼らを救い、その民を羊のように養われる。彼らは王冠の宝石のように、主の土地の上で高貴な光を放つ。

主なる神によって守られ、養われるとき、わたしたちはみずから光を放ちはじめます。神の愛の光がわたしたちのうちに浸透するからです。わたしたちは無価値なものではなく価値あるものであり、どうしてもよいものではなく貴いものなのです。

（祈り）

主よ、わたしたちを守り養ってください。あなたはわたしたちをあなたの目に貴いものとしてくださいます。アーメン

12月18日（木）

ルカによる福音書2:9

すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。天使は言った。「恐れるな。わたしは大きな喜びを告げる。」

ベツレヘム近郊の野原で、夜、羊を守っていた羊飼いたちは、強い光を浴びて非常に恐れました。神がここにおられると感じたからです。けれどもその恐れは、大きな喜びに変えられます。

（祈り）

神よ、救い主降誕の知らせを、わたしたちにもはっきりと聞かせてください。わたしたちの心に喜びをお与えください。アーメン

12月19日（金）

ヨハネによる福音書1:4

ことば

言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。

光を創造した神の言葉は、冷たい規則の言葉ではありません。それは生かす言葉、命の言葉、命をもたらし、命を吹き込む言葉です。神の呼びかけはわたしたちのうちに光をともし、熱をもたらします。

（祈り）

神よ、あなたがわたしたちに語りかけてください。あなたの言葉によってわたしたちに光と命をお与えください。アーメン

12月20日（土）

ヨハネによる福音書1:6-7

神から遣わされた一人の人がいた。その名はヨハネである。彼は証しあかをするために来た。光について証しあかをするためである。

洗礼者ヨハネが世に現れた目的はただひとつ。それは光であるイエス・キリストをわたしたちに指し示すことでした。わたしたちもヨハネの指の先、イエス・キリストを見つめましょう。

（祈り）

神よ、ヨハネに導かれて、わたしたちもイエス・キリストを見つめ、そこに希望を見出すことができますように。アーメン

12月21日（降臨節第4主日） ヨハネによる福音書1:9

その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。

その光はわたしたちを照らしています。その光はわたしたちを包みます。その光はわたしたちを温かくします。その光はわたしたちを清めます。

（祈り）

主イエス・キリストよ、おいでください。わたしたちのうちに宿ってください。アーメン

12月22日（月）使徒聖トマス日 ヨハネ8:12

イエスは再び言われた。「わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ。」

ここでイエス・キリストはご自分を示しつつ、「わたしは」と発言されます。わたしたちはこのかたを見つめ、このかたの声を聞きます。命の光を与えられるとは何とさいわいなことでしょうか。

（祈り）

主イエス・キリストよ、あなたの招きの声を聞かせてください。あなたに従い行かせてください。アーメン

12月23日（火）

ローマの信徒への手紙13:12

夜は更け、日は近づいた。だから、闇の行いを脱ぎ捨てて光の武具を身に着けましょう。

クリスマスにおいてひとたび来られた救い主は、やがてふたたびおいでになって世界を整えられます。わたしたちはその日を待望しつつ、それに向けてみずからを整えます。

（祈り）

主イエス・キリストよ、ふたたびおいでになるとき、この世界を愛と正義と平和で満たしてください。アーメン

12月24日（水）

ヨハネの手紙一 1:7

しかし、神が光の中におられるように、わたしたちが光の中を歩むなら、互いに交わりを持ち、御子イエスの血によってあらゆる罪から清められます。

神の愛の光に照らされ包まれるとき、わたしたちの間に温かな交わりが起こります。イエス・キリストは、降誕からおよそ30年の後、十字架に死んで罪と悪と死の支配を砕いてくださいました。飼い葉桶の中に、愛の十字架の光が宿っています。

（祈り）

主よ、あなたの光の中を歩ませてください。アーメン

12月25日（木）

ヨハネの黙示録21:24

諸国の民は、都の光の中を歩き、地上の王たちは、自分たちの栄光を携えて、都に来る。

救い主を迎えたわたしたちは、多くの困難を抱えつつも救いの完成の日に向かって進みます。その日、神の光の満ちる所に、あらゆる人々——民族、言語、歴史、文化の違う人々——がそれぞれの労苦の実りを携えて集まってきます。

だれもどの国もどの民族も排斥されず、神の光の中ですべての人が愛によって結ばれるのです。

（祈り）

神よ、争うこの世界の中に平和と一致を実現させてください。だれもが軽んじられたり虐げられたりすることがありませんように。平和の主イエス・キリストがすべてを治め、守り、導いてください。アーメン

日本聖公会奈良基督教会 <http://www.nskk.org/kyoto/nara/>

〒630-8213 奈良市登大路町45 TEL 0742-22-3818

12月21日(日) 9:00 クリスマス英語礼拝 (Morning Prayer)

10:30 クリスマス大礼拝 (聖餐式)

17:00 平和の祈り

12月24日(水) 19:00 降誕日前夕の礼拝 (キャンドルサービス)

23:00 深夜ミサ (聖餐式)

12月25日(木) 10:30 降誕日聖餐式

どなたでもご参加ください。